はるかぜネットワーク

7月号

Vol.341
2024年6月28日発行

外来診療部
リハビリ・管理栄養士の活躍

素敵な巾着愛用中／素敵なアート　4
脳トレで老化予防／職員向け己書幸座　5
真理子先生だより／お薬の話　6, 7
第296回　春風狂句　8
新しい仲間／遠い夏の思い出　9
看多機活動日記／サ高住だより　10
ちょっと得する栄養情報　11
心を磨く　美化委員　12

≪ 祝１０周年 ≫　地域包括ケア杏心の丘は7月１日で１０周年を迎えます。
来月号ではこの10年を振り返ります。読者の皆さまからのコメント等ぜひお寄せください。

◆ お知らせ・ニュース ◆

※ 受診の際は、マスクを着用・手指消毒を励行し、検温と問診に引き続きご協力をお願いします。

- ７月１日～26日　くまもと県北病院から約１ヶ月の日程で研修医の先生が来られます。
- ７月20～21日　清田院長が学会参加のため不在となります。城野先生が出勤します。
- ７月24日（水）　熊本市老人クラブ連合会の女性リーダー研修会で清田院長が講師を務めます。
- ７月31日（水）　14：00～はるかぜホールにて第１０４回新おりひめの会が開催されます。

（写真掲載につきましては、ご本人・ご家族のご了承を得ています）

外来診療部
リハビリ・管理栄養士の活躍

今年の診療報酬改定は６月。はるかぜネットワークでもさまざまな変化についてお伝えしてきました。療養計画書等、実際に変わったことを感じられた方も多いかもしれません。

患者さんの健康をトータルで、さらにワンストップで看続けるために、外来診療部では、４月から新たに理学療法士と言語聴覚士を専従で配置しました。

無床の診療所では、通常は医師や看護師のみの配置が標準的です。しかし、春日クリニックでは、開設当初から「管理栄養士」を配置してきました。管理栄養士は、患者さんの健康を医療面だけでなく、食事面からもサポートします。そこにさらにリハビリの専門職が加わることで、患者さんのトータルケアが更にパワーアップできると思っています。

今回は外来診療部での理学療法士・言語聴覚士それぞれの働きを、自己紹介も兼ねて、まずご紹介させていただきます。

理学療法士の働き　　小川　佳世

４月より外来診療部の一員となりました、理学療法士の小川です。

理学療法士はリハビリの中で動作の専門家として一端を担います。ケガや病気などで、基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）が行い難くなった方への動作の回復や維持、障害の悪化予防を目的に、運動療法や物理療法（温熱、電気等）などを用い、自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。また、最近では病気やケガを予防するための健康増進や高齢の方への介護予防、生活習慣病に対する運動指導などに取り組んでいます。

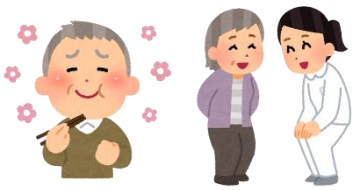
これまで私は、当院併設の通所リハビリや、お家に伺って行う訪問リハビリの業務に携わってきました。自宅で行う運動にはどんなものがあるか、痛みを軽減させるのにどうすれば良いかなど、受診される皆さんの身体や暮らしに関する困りごとに、リハビリの視点からお話ができればと思います。

どうぞお気軽にお声掛けください。よろしくお願いいたします。

言語聴覚士の働き　　宮﨑　なぎさ

４月から外来に再配属になりました、言語聴覚士の宮﨑です。

言語聴覚士の仕事でまず挙げられるのが、口を使う動作、つまり、しゃべること・食べることに不便を感じる方の支援を行うことです。加齢や進行性疾患、口腔の手術、脳卒中後遺症などにより、はっきり言葉をしゃべることが難しくなる構音障害、脳卒中後遺症により話すだけでなく、聞く、読む、書くこと全てに障害を受ける失語症などに対してのリハビリを



行います。どちらも日常コミュニケーションに影響し、生活の質（QOL）を大きく低下させてしまいます。

もう１つは、近年、大きく注目されている摂食嚥下障害です。食べたり飲んだりする動作を簡単に説明すると、まず、口がしっかり開いて、丈夫な歯でしっかり噛んで、舌を上手に使って喉まで食べ物を送ります。送り込まれた飲食物を「ごっくん」と飲み込みます。この過程のどこかに問題が起きることを摂食嚥下障害と言います。ひどくなると誤嚥性肺炎を起こすことがありますので注意が必要です。

口を使う動作について、何か気になることや質問などある方は、外来におりますので気軽にお声掛けください。

日頃の生活習慣や、動き方の癖などで身体に不調をきたすことがあります。痛みが出るようになった、何となく動くことが億劫になった、ということはないでしょうか。ご自身のことだけでなく、身近な家族の調子が気になるなど、生活の中で気がかりなことはありませんか？

また、喋りづらくなった、食事の際にむせるようになったなど、自身で感じることであったり、周囲の方が気づかれることもあると思います。

姿勢や動き方、十分な筋力があるかどうかなどを確認しながら、その方に合った改善方法をリハビリの専門職として一緒に考えていきたいと思います。

多くの患者さんにリハビリスタッフを活用していただきたく、今回簡単なチェックリストを作成しました。今後、待合室の飾り棚に用紙を設置する予定です。気になる方はぜひお試しください。

第104回　新おりひめの会が開催されます

テーマ：　『人生 100 年時代と骨の関係』
日時　：　2024 年 7 月 31 日（水）14：00 ～ 15：30
場所　：　春日クリニック 3F　はるかぜホール
申込み・問い合わせ先　：　春日クリニック外来受付

今回のテーマは「骨粗鬆症」。たった一度の転倒で骨折し、要介護状態や寝たきりになったなど、生命予後に大きな影響を及ぼしてしまった実例を外来診療で多く経験しています。私たちは骨粗鬆症を未然に防ぐことはできるのでしょうか。脆弱化してしまった骨密度を回復させるケアや、転倒しない体作りのコツなど、骨を折らずに快適に過ごすための具体的な方法を学んでいただきたいと思います。

今回は院長をはじめ、理学療法士・岡本（デイサービスセンターはるかぜ）と臨床検査技師／骨粗鬆症マネージャー・松井（春日クリニック）が登壇します。ぜひご参加ください。

素敵な巾着、みんなで愛用中です♪

はるかぜ通所リハビリテーション

はるかぜ通所リハビリテーションをご利用中の上田ヤス子さん（93）。手芸がとてもお上手で、たくさんの巾着やティッシュケースを縫って多くの方へプレゼントされています。巾着の大きさは様々で、利用者さんは自分の用途に合わせてそれぞれ選ばれ、とても喜んでおられました。巾着を受け取った利用者さんは「これ、手縫いなの？すごいね！」と驚き、シューズ入れや鍵・飴玉入れなどに使われています。

糸通しもスムーズに
できます★（上田さん）

ケータイやらなんやら
入れとるばってん
使い勝手のよかよ～！

心のこもった
特製巾着を
ご愛用中の
みなさん♪

何を入れて
使おうかな～？

どれも可愛らしく、素敵な作品ばかり。上田さん、ありがとうございました♪

ペットボトルキャップが素敵なアートへ

デイサービスセンターはるかぜ

今回デイサービスでは、午後からの制作活動の時間を使い、利用者の皆さんと一緒にペットボトルのフタでひまわりアートを作成しました。

まずボードにひまわりのデザインを下書きし、ペットボトルのフタを貼り付けていきます。どの色のフタをどの部分に使うか、皆でアイデアを出して相談しながら進めました。協力してひまわりを作っていく過程で利用者さん同士の交流も深まりました。完成品を見て「キレイなのが出来たね～」と皆さん大満足のようでした。

飲んだらすぐに捨ててしまうペットボトルのフタも、ちょっとした工夫で素敵なアートへと生まれ変わります。

杏心の丘にお越しの際は、ぜひデイサービスに見に来られて下さい。

脳トレで老化予防！

脳トレは、難しい問題を解くより、スラスラできる課題を行う方が、左右の脳の多くの部分が活発に活動するそうです。脳を元気にしましょう！

問題） 数字しりとり計算です。
□ に正しい数字を入れて、しりとりを完成させましょう。

（例）3 ＋ 7 ⇒ 10 ÷ 2 ⇒ 5 × 3 ⇒ 15

（A）15 ÷ 3 ⇒ □ × 6 ⇒ 30 ＋ 2 ⇒ □ ＋ 18 ⇒ □

（B）6 × 3 ⇒ □ ÷ 2 ⇒ □ ＋ 21 ⇒ 30 － □ ⇒ 12 × 3 ⇒ □

（C）14 ＋ 7 ⇒ □ ÷ 3 ⇒ □ × 9 ⇒ □ － 9 ⇒ 54 ÷ 2 ⇒ □

脳トレのこたえはページの下に

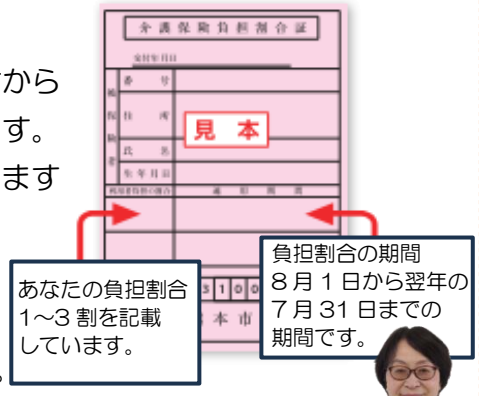
☆ 新しい仲間が増えました！☆

４月よりはるかぜ居宅に入職しました、松本 さと子です。
早く利用者さんとの関係を築き、少しでも役に立てる支援を目指していこうと思います。そのためには明るく、楽しく、自分が幸せで余裕をもって関わりたいです。宜しくお願いします。

☆ 大切なお知らせ ☆

介護保険の認定を受けている方には、毎年 6～7 月ごろに市町村から**「介護保険負担割合証」**や**「後期高齢者医療被保険者証」**が届きます。ケアマネジャーや各事業所の担当者が確認をさせていただいておりますので、ご協力をお願いします。

また、介護保険施設入所や短期入所（ショートステイ）を利用している方で、**「介護保険負担限度額認定証」**の交付を受けている方は、７月末までに更新手続きが必要です。忘れずに行いましょう。



※ 介護保険サービスの利用や申請などもお気軽にご相談下さい。（はるかぜ居宅 山田）

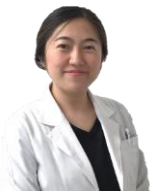
職員向け

己書幸座 開講しました

「己書（おのれしょ）」という言葉を聞いたことがありますか？読んで字のごとくですが、「自分だけの書」という意味です。従来の書道と違い、お手本通りや決められた形があるわけではなく、書き方や文字の書き順などに囚われることなく、思うがまま、自由に筆を走らせ、自分の世界観を楽しく表現する新感覚の書、と言われています。また頭の体操にもなり、認知症予防にも有効という研究も行われています。

今回、まずは職員向けにこの己書の講座を開講しました。デジタルが主流になりつつある現代、筆をもって自由に描くというのはとても新鮮で楽しい時間です。いずれは地域の皆さんにもお声がけしたいと思います。

（脳トレの答え）（A） 5・32・50　（B） 18・9・18・36　（C） 21・7・63・27

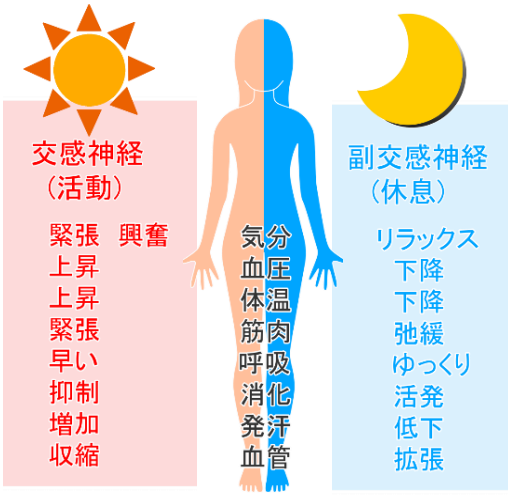


真理子先生だより

五感から自律神経を整える♪
～ 目のはたらきを中心に ～

季節の変わり目には、「なんとなくだるい」「めまいがする」「血圧が変動する」「睡眠がいまいち」「風邪をひきやすい」など、さまざまな症状での相談があります。自分から「自律神経が…」とお話しされる方も多いです。自律神経については最近いろいろなことがわかってきています。環境に合わせて自動的に全身の機能を調整している自律神経には働きがたくさんあって、全体像をつかむのが難しいものでもあります。

症状に対する対処を一つひとつしても、薬が増えたり、対処法がたくさんありすぎて難しくなったりと逆にこんがらがってしまうことも多い自律神経。今回は症状ではなく、自律神経を動かす「刺激」の方からみてみたいと思います。

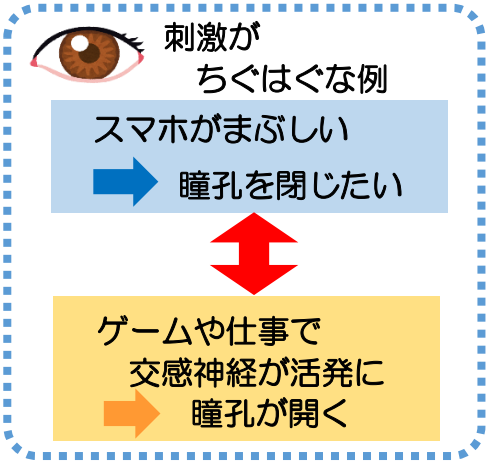


意外と知られていない目の働き、光の刺激

目は「見る」という働きの他に、光からの刺激で「身体を調整する」という働きがあります。目から入った光が目の奥の壁（網膜）に当たり、網膜にあるタンパク質が光を感知します。それが脳に伝わって、脳が処理した情報を私たちは「色や形」として認識しています。網膜には色を感知するタンパク質が 4 種類ありますが、実はその他に光を感知して身体を調整しているタンパク質が 5 種類あるといわれています。太陽光を浴びると糖尿病のリスクが低下する、メンタルヘルス改善につながるというのもこのような目の働きによるものかもしれません。

目と自律神経の乱れの関係

目から入る光の量は瞳孔というレンズの絞り（黒目の大きさ）で調整されています。その大きさを制御しているのが自律神経で、緊張や集中するなど交感神経が活発な時に瞳孔は開き（黒目が大きくなり）、リラックスして副交感神経が働いている時には瞳孔は閉じる（黒目が小さくなる）という働きをします。瞳孔は「まぶしい」と感じるときにも小さくなるようにできていますが、最近その刺激がちぐはぐになって目の疲れや自律神経の乱れが生じている人がいると言われています。



現代の生活は自律神経を乱す刺激であふれています。健康を考えるとき、食事や運動に意識が向きがちですが、目にするものにもぜひ注意を向けてみてください。光だけでなく、音も香りも肌に触れるものも周りにあるもの全ての刺激を受け取って身体は日々バランスをとっています。外に出たとき、短時間でも木々や花、空の色を眺め、風を感じ、季節の香りを楽しんでみてください。忙しい毎日に心の余裕が生まれ、身体の調子が変わることを感じるはずです。

もっと詳しく知りたい方へ　～ おススメ図書 ～

目から入る光を調節することで、発達障害や自律神経失調で生きづらさを感じている人が楽になる可能性があります。そのことを知るだけでも気持ちが楽になるものです。

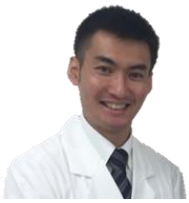
なかなか対処法がなく、困っている方の相談をたくさん受ける分野でもありますので、「必要な人へ届きますように」と願いを込めてここに紹介させていただきます。

『 いのちのめがね 』

～ 眼鏡屋さんが明かすパフォーマンス向上法 ～

著：灰谷 孝 ／ 出版：PHP 研究所

まぶしさや苦手な色が体を疲労させていた！原因不明の不調はこれらからきているのかも…？　自分に合ったカラーレンズの可能性を解説。



甲斐先生のおくすりのはなし。

「目薬」正しく使えていますか？

普段目薬を使用するとき、下記のような使い方に心当たりはありませんか？
目薬を誤った方法で使用している人は少なくありません。病院でもらう目薬、市販の目薬、どちらにも共通した正しい使い方をみていきましょう。

✕ 目薬を確実にさすため、容器の先を目じりにつけて点眼している。

“目薬”と、いわゆる“錠剤”などのお薬の最大の違いは水分の量です。目薬はほぼ水分であり、多くの目薬には防腐剤が添加されていますが、開封後は雑菌が紛れ込まないよう十分に注意して使う必要があります。目じりやまつげに容器の先をつけてしまうと細菌などが目薬に入り込んでしまうリスクが高まるので、**触れずに使用しましょう**。

✕ 目に良くなじませるため、点眼後に目をパチパチする。

目をパチパチすると目薬が涙の管を通って鼻の方へ流れ出てしまうため、薬の効果が落ちてしまうだけでなく、苦みを感じやすくなるなどの副作用が出やすくなってしまいます。点眼後は**目頭を押さえて約 1 分以上、目を閉じてじっとする**のが原則です。

✕ 薬の効きをよくするため、1 回に 2～3 滴使う。

目薬を滴下すると目の中の結膜嚢（けつまつのう）という袋におさまり、徐々に有効成分が目の奥へ浸透していきます。この袋は約 30μL しか液体を貯めることができません。目薬は 1 滴でだいたい 30～50μL になりますので、特別なことがない限り **1 滴で十分に事足りる**といえそうです。

この他にも“点眼する前に手の洗浄を行う”“開封後の目薬は 1 ヶ月を目安に破棄（市販のものは 3 ヶ月まで大丈夫なものもある）”“2 種類以上使用するときは 5 分以上間隔をあけて使用する”など、目薬は正しく有効にご使用ください。

※お薬について分からないことは、気軽にお尋ねください。

第296回 春風狂句

8月号の題は
「もっての外」「雨あがり」です。
お一人三句以内で7月13日（土）までに
受付にお出しください。お待ちしております。

選者　国府　良貝

❀ 聞いとらん 知っとるくせに 知らん振り　　矢邊 義興

（評釈）仲々 役者ばい。ちゃんと 事情は わかっとっとに
知らん振りば しよらす。本人たちのこつば 考えての
心遣い。やっぱ 年の功ばい。

❀ 聞いとらん じいじとばあばも 連れてって　　富田 敬子

（評釈）孫が 遊びに来て 今度 ディズニーランドに 行くて
聞いた。足腰の弱っとるけん 遠慮したつだろ。足手まといに
ならんごつするし 中では 別々で よかけん。一度
行ってみたかったつよ。

❀ 聞いとらん 聞いてあきれる 何事も　　田中 美智子

（評釈）聞いとらんで 良かった。いろいろ 聞けば聞くほど
腹の立つことばかり。今さら 言うたっちゃ 仕方のなか
ばってん これから 出入りせんでくれ。

❀ 聞いとらん 黙って嫁（よめ）る 筈の無ア　　脇田 五典

（評釈）そるが 今は ようある話のごたるよ。結婚は 二人の
問題ていうて いつの間にか 一緒になっとるらしか。反対は
せんばってん 一度は 花嫁の父ば してみたかったつよ。
さびしか。

たくさんの投稿をありがとうございます。
評釈は、勝手なイメージで書かせていただいておりますので お気に召さない場合があるかもしれません。
お許しください。初めての狂句参加もお待ちしています。

❀ 最高よ さよなら満塁 ホームラン　　杉野 裕志

（評釈）今年の大谷は そこそこ 打ちよっとばってん
良かとこでの 凡退の 多か。すかっとするごたる
さよなら満塁ホームランば 見たか。お願いしますよ。

❀ 最高よ 旧知の友と 米寿酒　　島藤 子

（評釈）酒飲みながら 昔話に 花の咲く。これが 一番
楽しかつよね。この年になって しみじみ 子供の頃のこつば
話せる友のおるこつは ありがたか。

❀ 最高よ 日々の生活 無事なこと　　森 益代

（評釈）毎日 毎日 戦争 災害 事件などの 報道が
されんこつはなか。平和で 不自由なく 生活
できとることに しみじみ感謝。不平不満ば言うと
バチの 当るよ。

（先月のお題より）

❀ お酒落だね ちょっとは痩せて 見ゆるばい　　吉岡 広子

（評釈）夫婦だけん 言わるっことばよね。太っても
少しでも 痩せて 見ゆるごつ 努力しとるとこが
かわいかじゃなかね。おれも 人のこつは 言えんもんね。

新しい仲間が加わりました

はるかぜ訪問看護ステーション

先月号でもお伝えしましたが、４月から訪問看護、訪問リハビリテーションの事務所が一緒になり、新しいスタッフも２名増え、総勢 11 名の大所帯となりました。今まで以上のチームワークで皆さんの在宅生活を支援していきます。今回は ２ 人の新しいスタッフに意気込みを聞きました。

５月より訪問看護で研修をしています。今まで外来診療や訪問診察に携わってきましたが、今回訪問看護で実際の在宅生活を知ることで、今までと違う視点で利用者の皆さんと関わる事ができ、とても勉強になります。幅広い視野でサポートが行えるよう頑張ります。

看護師　松本　由香理

４ 月から入職し３か月が経ちました。以前から訪問でのリハビリに携わってきて、一人一人の利用者さんに寄り添った関わりを心掛けていましたが、当クリニックでの医療と介護が密に連携をとり、より迅速で的確なサポートを行おうとするチーム力に日々刺激を受けながら仕事が出来ています。自身も学び成長しながら、利用者さんのその人らしさを大切に支援してきたいと思います。

理学療法士　福永　千明

「遠い夏の思い出」

はるかぜ介護福祉ステーション

祭りや水遊びなど夏はイベントが多い季節です。ふとした瞬間に子供の頃の楽しい記憶が思い出され、懐かしい気持ちになることはありませんか？

今回は、福田典子さんに「遠い夏の思い出」と題し、インタビューさせていただきました。

私は白川国民学校（現在の白川小学校）に通っていました。学校の側には白川が流れており、眺めも良く、とてもきれいな川でした。

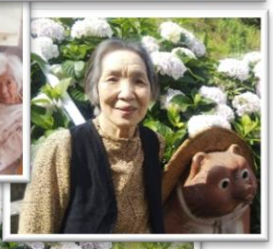
当時はプールがなかったので、体育は白川で泳いだりもしていました。釣りや貝拾いなどをして川遊びを楽しんでいる子供もいましたね。私は泳ぎは苦手でしたが、煌びやかに流れる川を学校の窓から見るのがとても好きでした。

読書や作文が好きだった私は、その光景を忘れないように作文に残そうと励んでいた思い出があります。文章が上手な先生に熱心にご指導をうけたことも良い思い出です。

昔のことを思い出して、懐かしい気持ちに浸ることは、ストレスが和らぎ、気分転換になるなど、脳にとても良い効果があるそうです。また脳の活性化にもなると言われています。これから思い出を作るのはもちろん、昔を回想しながら、心も体も元気に夏を過ごしましょう。

看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ　活動日記

雨にも負けず・・・



ジメジメした梅雨にも負けず、今回も張り切って活動を行いました。今回の中心メンバーはなんと１００歳代の皆さん。折り紙で作った紫陽花が、デイルームを明るくしてくれました。

また、梅雨の晴れ間には気分転換。杏心の丘の敷地内にある大きな信楽焼のタヌキの前で記念撮影をしました。もう少し雨の時期が続きます。皆さんの体調に気を配りながら、いろいろな活動をしていきたいと思います。

短冊に願いを込めて

もうすぐ七夕。看多機はるかぜでは、今年も笹竹を飾り、七夕飾りを制作しました。短冊に思い思いの願いごとも綴り、飾りつけ完了！皆さんの願いが叶いますように。

サービス付き高齢者向け住宅　杏心の丘

杏心の丘　臨時運営懇談会

６月１３日に「杏心の丘臨時運営懇談会」が開かれました。今回のテーマは「食中毒対策」。春日クリニックの石井管理栄養士からは、「冷蔵庫を過信してはいけない」という話がありました。もったいないから食べ残した分を冷蔵庫へ…となりがちですが、「冷蔵庫に入れたら安心」ではないのだと入居者さんも「なるほど」と頷かれていました。また、日清医療食品スーパーバイザーの小西さんからは、食中毒対策のさまざまな取り組みについて詳しく説明していただきました。

食中毒が増える時期です。習慣となった、手洗い、手指消毒などを続けながら、楽しく食事をしていただきたいと思います。

杏子の実の収穫

５月２５日に杏子の実を収穫しました。昨年は実がなりませんでしたが、入居者さんのご指導のもと、２月に剪定したおかげで、今年は大きな杏子の実が１６０個も収穫できました。収穫後は職員と入居者さんが力を合わせて「杏酒」と「杏ジャム」を作りました。甘さを変えた３種類の杏酒は秋までじっくり寝かせて入居者さん達に味わって頂く予定です。お楽しみに♪

ちょっと得する栄養情報

管理栄養士のお仕事

管理栄養士
石井　彩沙

皆さん、“管理栄養士”の仕事をご存知ですか？「なんとなくは…」程度の認識の方も多いのではないかと思います。今回はより多くの方にこの仕事について知っていただくため、春日クリニックグループ唯一の管理栄養士・石井が、改めて管理栄養士の役割についてご紹介いたします。

管理栄養士とは？

管理栄養士は、病気を患っている方や高齢で食事がとりづらくなっている方、健康な方一人ひとりに合わせて専門的な知識や技術を活用して**栄養指導を行い、病院や施設では栄養管理、給食管理**を行います。医療施設、福祉施設（児童・老人・障がい者）、学校給食、行政機関、企業、教育・研究機関など、様々な場所で働いています。乳幼児期から高齢期まであらゆるライフステージにおいて、個人や集団に食事や栄養についてアドバイスをしたり、特定給食施設などで献立を立てて食事を提供したりするなど、皆さんの健康を「食と栄養の専門職」としてサポートしています。

管理栄養士のお仕事紹介

★ 栄養指導

病気に沿った適切な食事をする必要のある方を対象に、専門的な視点から食事や栄養に関する指導を行います。食事のポイントや具体的な調理方法、食べ方のコツなど個人に合わせた指導を行っています。必要に応じて訪問での栄養指導も行います。

★ 給食会議への参加

杏心の丘にて月に一度、給食委託会社と各担当者が集まり、提供される食事についての話し合いを行っています。管理栄養士の立場から衛生管理や安全で美味しい食事についての助言を行っています。

★ 講話

おりひめの会や各事業所の勉強会などで食事にまつわる話をすることもあります。前回のおりひめの会では「生活習慣病と食事」というテーマで具体的な調理のポイントなどを説明しました。

そのほかにも、病気別の食事のポイントについてのリーフレットの作成やレシピ紹介なども行っています。外来に来られた際はお気軽にお声をかけてください♪

のり塩芋もち

ポイントメモ！
おかずの１品、お子様のおやつ、おつまみ・・・と大活躍なメニューです。じゃが芋にはビタミンＣやカリウムが豊富に含まれています。

材料（２人分）

じゃが芋	中３個
片栗粉	大さじ１
青のり	小さじ１
塩	小さじ½
ごま油	大さじ１

【 作 り 方 】

1）皮をむいたじゃが芋を小さくカットして耐熱容器に入れたら、水大さじ１（分量外）を加えて 600w で４分程度温める。
2）温めたじゃが芋をよく潰して青のり、塩、片栗粉を加えて混ぜる。一口サイズに小分けした後、丸型に成型する。
3）フライパンにごま油を入れ、中火で２）を焼く。
4）焼き色がついたら出来上がり。

１人当たり：熱量 150kcal　塩分 1.2ｇ　食物繊維 11.4g

随時栄養指導実施中。食事の困りごとは、医師または各スタッフへお気軽にどうぞ。

美しい環境を整え、心を磨く。

美化委員

車　内　清　掃

ほとんど毎日使用している事業所の車。雨の日や風の日、暑い日も寒い日も快適に利用者の皆さんや職員を目的地へと運んでくれている、とてもありがたい存在です。今回は感謝の気持ちを込めて、事業所ごとに車内清掃を行いました。

今回通所リハビリテーションで掃除に使用したのはアルカリ電解水とエチケットブラシです。アルカリ電解水は主成分がほとんど水で、泡立ちもないため、二度拭きも不要です。人や環境への影響もなく、安全に使うことができます。また、除菌・消臭効果も高い為、プロの現場でも使われているそうです。

企画・担当　通所リハビリテーション

そしてエチケットブラシは車のシートに挟まったほこりを掻きとってくれ、とても重宝しました。これからも快適に過ごすためにアルカリ電解水での掃除も定期的に実施していきたいと思います。

※今回アルカリ電解水を使用したのは車内のシートのみです。車のボディや使用できないシートもあるので注意が必要です。

エチケットブラシにアルカリ電解水をスプレーしてから掃除します。

７月のテーマは『 水回り清掃 』担当は 看多機はるかぜ です。

医療法人社団　清心会
〒860-0047　熊本市西区春日3丁目25番1号
URL：https://seisinkai.or.jp

1階	**春日クリニック　（2階　薬局・診察室）** TEL096(351)7151／FAX096(351)7152 診療科目：内科・小児科・リハビリテーション科・麻酔科（清田 武俊） そ の 他：女性専用外来（水曜日午後　予約制）、各種健康診断、相談業務（更年期・禁煙・認知症・肥満・在宅ホスピス）健康増進事業（産業医・生活習慣病講話・出張指導） **春日クリニック訪問リハビリテーション** **はるかぜ通所リハビリテーション** TEL 096(351)3551 ／FAX 096(351)3559
2階	**はるかぜ訪問看護ステーション** TEL 096(351)6228 ／FAX 096(351)6151 **はるかぜ居宅介護支援事業所** TEL 096(322)7221 ／FAX 096(351)6151
3階	**法人本部（経営管理部）** TEL 096(351)6225 ／FAX 096(351)7154

地域包括ケア　杏心の丘
〒860-0047　熊本市西区春日4丁目18番28号

1階	**看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ** TEL 096(352)1155 ／FAX 096(352)2255 **はるかぜ介護福祉ステーション** TEL 096(323)5520 ／FAX 096(352)2255
2階	**デイサービスセンターはるかぜ** TEL 096(326)1515 ／FAX 096(324)5678
2階 3階 4階	**サービス付き高齢者向け住宅　杏心の丘** TEL 096(326)2000 ／FAX 096(324)5678
5階	**杏心の丘壱番館**

春日クリニックグループ広報誌「はるかぜネットワーク」　毎月１回発行　341 号
発行人／清田 武俊　編集／春風静香＆広報委員会　☎096-351-6225　Fax096-351-7154